

2021 年度 支援事業 活動報告

第 7 号 KNOW NUKES TOKYO 活動報告

「核なき世界基金」より温かいご支援を賜り、誠にありがとうございました。
無事に 9.26 に向けた「被爆国日本の U25 による提言書」にまとめることができました。以下、簡単ではありますが、報告をさせていただきます。

約 2 か月の準備期間の中で、インターネット上で、「Google Form」を使用し、学生や U25 の政府や核兵器廃絶についての意見・考えを募集し、約 30 名の回答を集めました。その後、対面での打ち合わせも含め、まとめ、最終的に 5 項目の提言書にまとめました。こちらです。 <https://www.know-nukes-tokyo.com/>

*なお、提言書作成の過程も取材がありました。 [毎日新聞](#)

それを「9.26 核兵器廃絶国際デー記念シンポジウム」で、外務省・池松審議官に手交しました。イベントのルポはこちらです。

https://nuclearabolitionjpn.wordpress.com/2021/10/02/report_symposium0926/

池松審議官は、「確かに受け取った」とコメント。後のパネルディスカッションでは、私達も国民の命を守るという思いでやってきている。核兵器廃絶というゴールは共有している。ただ、日本を取り巻く現状を考えると現時点ではアメリカの核の傘に頼らざるを得ない」と述べられました。

*その後のメディア報道も提言書にフォーカスしたものが多く、注目度の高さがうかがえます。

その後、上記シンポジウムのご縁で、中満泉国連軍縮担当上級代表に「提言書」を提出する機会をいただきました。

ルポ：https://www.know-nukes-tokyo.com/nakamitsu_20211114/

また、今年 1 月 22 日に開催した「オンライン被爆証言会」では、被爆者の濱住治郎さんが、この提言書やそれに関わる私たちのイニシアティブを高く評価してくださいました。

形ある提言書を通して、議論がより具体的に前進したと思います。社会的なインパクトも大きく、2021 年下半年は、ここから活動が広がっていきました。

以上、簡単ではありますが、ご報告とさせていただきます。

提言書を通して、核兵器の問題を社会に改めて投げかけ、議論するきっかけを作ることができました。ご支援をいただき、誠にありがとうございました。今後も重要な動きが続きます。どうぞ引き続きよろしくお願いいたします。

KNOW NUKES TOKYO 一同
(共同代表 高橋悠太)